

## のりあいタクシーの運賃見直しに伴う協議結果について

### 1 協議理由

令和3年度に現行体系での事業開始以降、事業の浸透により年々利用者が増加し交通空白の解消に成果を上げているものの、燃料費及び人件費の高騰等によるタクシー運賃の値上げや迎車回送料金の加算などにより、事業費が増額し続けている。財政負担を最小限に抑えつつ運行を維持するため、利用料金（運賃）の見直しの検討を行う必要がある。

### 2 現状及び今後の推移

資料 1-2 を参照

### 3 砥部町地域公共交通計画の評価指標及び目標値

現行の砥部町地域公共交通計画（R7～R11）において、財政負担に係る評価指標及び目標値を設定しており、「移動手段確保に係る年間財政支出額」の目標値を3,700万円、「のりあいタクシーの収支率」の目標値を22.7%としている。

指標5 移動手段確保に係る年間財政支出額			
現状値	約 3,300 万円	目標値	3,700 万円
考え方	のりあいタクシーの運行委託費増加や、燃料・人件費等の運行経費高騰、利用者の増加による事業費の増加が、移動手段確保に係る事業それぞれで見込まれる中でも、のりあいタクシーの運賃見直しや各種サービスの効率化等により、財政支出額の過度な増加を抑制する。		
算出方法	砥部町の移動手段確保に係る財政支出額の合計により算出する。 【現状値(令和 5 年度実績)32,580 千円：のりあいタクシー9,583 千円、とべ温泉行きバス 2,933 千円、スクールバス・広田地域高校生通学タクシー10,381 千円、国保診療所送迎ワゴン 1,959 千円、障がい者タクシー利用等助成事業 7,323 千円、高齢者運転免許証自主返納支援事業 402 千円】		
指標6 のりあいタクシーの収支率			
現状値	22.7%	目標値	22.7%
考え方	のりあいタクシーの運行委託費増加や燃料・人件費等の運行経費高騰が見込まれる中でも、のりあいタクシーの運賃見直しや乗合率の向上等により現状程度の収支率を維持することを目指す。 【現状値(令和 5 年度実績)：砥部 38.8% 1,934,300 円/4,982,040 円、広田 5.3% 243,250 円/4,601,450 円】		
算出方法	のりあいタクシーの運行実績から算出する。(運賃収入/運行経費)		

### 4 協議結果

年間財政支出額の増加は見込まれるものの、のりあいタクシー運賃改定を目安となる収支率目標を維持するため、当面は現状維持とするが、今後の推移により計画変更を含めて検討する必要がある。